

# 第12章 I T産業振興事業

## 1 会津産 I T技術認定

### ○概要

市内において、I Tを活用して起業を志す学生・個人・グループ、新商品を開発した企業、新技術を創出する研究者、学生などを対象に、優秀な成果品に対して「会津産 I T技術」の認定を与え、I Tベンチャー企業の技術やサービス、商品等の広域的な市場開拓に対し、そのスタートアップを支援します。

○募集部門 技術部門・ビジネスモデル部門

○募集資格 市内において、活動する市民や本市を拠点とする法人等

○応募期間 約1ヶ月

### ○評価基準

会津産 I T技術認定会議では新たな技術、商品・サービスにより広域的な市場開拓を目指す事業や、生産、販売方法等において新たなビジネスモデルの創出及び活用を伴う事業等の視点から優れた技術やビジネスモデルを選定しています。

会津産 I T技術認定会議の主なメンバーは会津大学、地元銀行、福島県ハイテクプラザ、民間支援機関、市等で構成しています。

### ○審査委員（会津産 I T技術認定会議メンバー）

### ○特典

- (1) 会津産 I T技術が [1]技術としての新規性又は独自性を持つ [2]技術としての優位性を持つ [3]市の事業において有用性を持つ場合には、市の事務事業への導入が検討されます。
- (2) 独立行政法人情報通信研究機構（NICT）等と連動するなど国県等に働きかけます。
- (3) 世界で活躍しているベンチャーキャピタリストからの直接の助言・指導等の支援を受けることができます。
- (4) 地元金融機関をはじめとする融資の専門家から融資環境を視野に入れながらの助言・指導等の支援を受けることができます。
- (5) 会津若松市認定会津産 I T技術という称号を使用することができます。
- (6) 副賞として最高額で50万円が授与されます。  
(認定件数が多数の場合はこの限りではない)
- (7) 会津若松市に対して技術やビジネスモデル等での問い合わせ等があった際には優先的に紹介されます。

## ○応募状況及び会津産IT技術認定結果

### (1) 応募総数

平成 21 年度	ビジネスモデル部門	0 件、技術部門	5 件	総数	5 件
平成 22 年度	ビジネスモデル部門	1 件、技術部門	6 件	総数	7 件
平成 23 年度	ビジネスモデル部門	0 件、技術部門	7 件	総数	7 件
平成 24 年度	ビジネスモデル部門	0 件、技術部門	7 件	総数	7 件
平成 25 年度	ビジネスモデル部門	0 件、技術部門	7 件	総数	7 件
平成 26 年度	ビジネスモデル部門	2 件、技術部門	4 件	総数	6 件
平成 27 年度	ビジネスモデル部門	0 件、技術部門	5 件	総数	5 件
平成 28 年度	ビジネスモデル部門	2 件、技術部門	4 件	総数	6 件
平成 29 年度	ビジネスモデル部門	0 件、技術部門	0 件	総数	0 件 (実施せず)

### (2) 最近の認定者及び事業名

#### 【平成 21 年度】

◎大賞 該当なし

○奨励賞

株式会社マイクロアーツ：QR コードと携帯電話による図面のトレーサビリティシステム  
株式会社NST：ウェブアプリケーションの脆弱性検知及び原因箇所の特定支援技術  
会津大学会津 IT 日新館工房 5：カム運動曲線創成システム

#### 【平成 22 年度】

◎大賞

株式会社あくしゅ：IaaS/PaaS 型クラウドを実現するオープンソースソフトウェア  
「Wakame」

○奨励賞

会津大学 遠藤国忠：スマートフォンアプリ ユーザー同士による服選びサポートシステム  
株式会社 Eyes, JAPAN S3D 技術を使用した医療用 3DCG 映像コンテンツライブラリの作成

#### 【平成 23 年度】

◎大賞

花咲けピクチャーズ株式会社：ファッション系ソーシャルコマース「STYLE SHARETM」

○奨励賞

株式会社ジークルー：マルチプラットフォームゲームエンジン「GCube」  
株式会社 NST ラボ：iPhone 及び iPad 向けアプリケーション「天気戯画」

#### 【平成 24 年度】

◎大賞

株式会社ジークルー：iOS 連携ハードプラットフォーム  
会津大学院 相田真吾：座位姿勢角度計測 iOS アプリケーション「S. P. M. i」シリーズ

○奨励賞

株式会社会津ラボ：スマートフォン向けアプリ「ご当地観光指さしナビ」

【平成 25 年度】

◎大賞

株式会社会津ラボ：スマートフォン向け女子会調整アプリ「Apoli」

○奨励賞

株式会社 Eyes, JAPAN：オープンデータを可視化し比較するプラットフォーム技術

株式会社デザイニウム：オープンデータを用いた観光文化資源マッピングアプリケーション

会津大学 4年 讃岐 航：Machi-Beacon(町ビーコン)

【平成 26 年度】

◎大賞 該当なし

○奨励賞

株式会社 Eyes, JAPAN：FUKUSHIMA Wheel (フクシマホイール)

会津大学 2年 五十嵐 太清：Pieces of Japan (ピースオブジャパン)

株式会社デザイニウム：災害対応クラウド電話ポータルサービス「でんこちゃん (仮)」

【平成 27 年度】

◎大賞

株式会社会津ラボ：簡易設置可能な家庭向け多機能電力見える化システムの開発

○奨励賞

株式会社デザイニウム：リハビリの定量的機能改善評価システム

株式会社 FaBo：VR 拡張プラットフォーム” CardBoard+”

【平成 28 年度】

◎大賞

株式会社マイクロアーツ：PDF 変換サーバー製品 ZumenPDFserver シリーズの開発と販売

株式会社 for Our Kids：さわれるプログラミング教材ロボット PETS

○奨励賞

藤井 靖史, 五十嵐 太清, 坂口 勇太, 鍛 哲史 (会津大学チーム)：Tax Free Help

【平成 29 年度】

◎大賞 該当なし

○奨励賞 該当なし

## 2 I Tベンチャー販路拡大支援事業

### 概要

会津産 I Tとして認定された認定技術について、国内外で開催される展示会に出展し、販路拡大や業務拡張を目指す企業に対して、展示会の出展にかかる経費の一部を補助します。

最新 I T技術のビジネスマッチングの機会は首都圏等に集中する傾向にあり、また大規模な展示会への参加によってビジネスチャンスが拡大する傾向がありますが、個々の企業体での参加は経済的な負担が多く参加が厳しい現状にあります。そこで必要経費の一部を支援して、成長産業である I T産業の優秀な技術の育成強化に寄与します。

### 対象経費

国内外の大規模な展示会・見本市等への出展料、及び展示スペースの装飾、電気通信料、出展製品運搬料等

### 対象者

会津産 I T技術に認定され、市内に主たる事業所を持つベンチャー企業若しくはベンチャー企業 2 社以上で構成されるグループ及び団体等

### 助成金額

助成対象事業を実施し助成対象と認められる経費の 1 / 2 以内(限度額 1 件あたり 20 万円)

## 3 I T特許相談窓口

ベンチャー企業の特色ある技術や、サービス、商品を支援するため、市では I Tに関する特許等を中心とした知的財産の無料の相談窓口を設置しています。

アドバイザーの方々は大企業の知的財産部門で長年にわたりご活躍いただいているの方々です。特許取得ばかりではなく、他社の特許活用や戦略的な特許活用の相談、コンサルティングが可能です。

### 対象者

市内に活動の拠点を有し、特許等に関する懸案事項を持つ I Tベンチャー企業等。

### 相談のフロー

- (1)相談の申込み (Web 上から申込書を提出)
- (2)相談の調整 (市商工課が相談者及びアドバイザーと調整)
- (3)相談の実施 (アドバイザーが主にメール等で相談者にアドバイス) ※相談料は無料。

### アドバイザー

#### 【大須賀 通孝】

特許業務法人 高田・高橋国際特許事務所 特許技術担当部長

#### 【松本 忠】

松本コンサルタント事務所 元ソニー・ヒューマンキャピタル株式会社

## 4 会津 I T 産業振興協議会

### 1. 設立

平成 27 年 5 月 25 日

### 2. 目的

市内の I T 産業が持続的に発展することを目指し、人材育成・確保、技術力・商品力の強化、情報発信・販路開拓の支援等、I T 関連商品・サービスを活性化させることを目的とする。

### 3. 構成

地元企業：13社

支援機関：東北経済産業局、福島県産業創出課、福島県会津地方振興局、公立大学法人会津大学  
会津若松商工会議所

アドバイザー：一般社団法人コラボ産学官、一般社団法人 MAKOTO

顧問：会津若松市長

事務局：会津若松市観光商工部商工課

### 4. 業務内容

#### (1) 創業支援事業

会津大学発ベンチャーを中心とした I T ベンチャーのスタートアップを支援する。

#### (2) I T 人材育成支援事業

I T 人材育成に資する講演会、セミナー等を開催する。

#### (3) 技術力・商品力の強化支援

先端 I T 技術を活用したハッカソンやワークショップ等を開催する。

#### (4) 販路開拓支援事業

企業マッチングを強化させ、会員個々のニーズに沿ったビジネスチャンスの創出を図る。